

川崎医科大学高齢者医療センター一開院記念対談



高齢者医療センター病院長
柏原直樹氏

学校法人川崎学園（倉敷市松島）が岡山市北区中山下に整備を進めていた「川崎医科大学高齢者医療センター」が9月1日に開院します。同医科大学にとって3番目の附属病院で、地域包括ケアシステムを担う多様な医療福祉の専門職を育てながら、地域の皆さまに「治し支える

医療」を提供する病院を目指しています。開院を記念し、川崎学園の川崎誠治理事長と、同高齢者医療センターの柏原直樹病院長に開院の意義などについて語っていただきました。（同会は山陽新聞社の仮谷寛志常務取締役倉敷本社代表、文中敬称略）



川崎学園理事長
川崎誠治氏

開院への思い

川崎医科大学高齢者医療センターの開院を迎えるに当たっての思いをお聞かせください。

川崎 川崎医科大学高齢者医療センターは、超高齢社会を迎える中、高齢者の皆さまが住み慣れた地域の中で、自分らしい暮らしを続けることができるよう支援する病院です。また、川崎医科大学3番目の附属病院として、地域包括ケアを支える多職種の医療福祉の専門職を育成するというコンセプトも持っています。学園創設者でもある川崎祐宣が外科医を開業して85年となる節目の年に、思いが詰まった旧川崎病院跡地に新病院を開くことができ、感慨無量です。高齢者医療センターの開院により、2016年開院の川崎医科大学総合医療センター、昨年4月に倉敷市から新築移転した川崎医療短期大学を合わせた「川崎学園岡山キャンパス」も完成となります。「病院は患者さんのためにある」という創設者の思いを受け継ぎ、地域の医療機関と連携を深めながら、高齢者を支える身近な病院として、地域の医療福祉の充実に貢献してまいります。

柏原 川崎医科大学は救急医学教室や総合臨床医学教室の開院など、その時代に求められていた医療分野を開拓してきた歴史があります。最先端医療という遺伝子治療などを思い浮かべますが、日本が超高齢社会を迎え、高齢者医療もまた、その一つと言えるところです。川崎学園発祥の地でその最先端の領域を新たに開拓していきたいと思っています。

「治し支える」医療を目指して

診療の特長は

高齢者医療センターではどのような診療を行うのでしょうか。

川崎 医学の進歩に伴い、日本の平均寿命は男性で81歳、女性で87歳を上回り、65歳以上の高齢者

学びの場にも

川崎医科大学にとって3番目の附属病院として高齢者医療センターはどのような意義を持つのでしょうか。

川崎 川崎学園では1970年の川崎医科大学開学以来、医師を合診療が必要になります。今ま

地域包括ケアの担い手を育成 川崎氏

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

川崎 川崎医科大学は、4万5千人を超える卒業生を送り出しています。これらに、身体機能、認知機能などを適切に評価し、個別のかつ総合的な医療・介護・看護を提供し、在宅復帰、在宅療養につなげていきます。

超高齢社会の最先端切り開く 柏原氏

川崎医科大学高齢者医療センターは、複数の疾患を抱えることが多く高齢者の全身を総合的に診療していくほか、患者の在宅復帰を支援する「地域包括ケア病棟」や在宅療養を支える「在宅療養支援センター」を設置、急性期医療と在宅療養をつなぐ医療機関として、患者の在宅復帰、在宅療養を支援します。

「急性期」と「在宅」つなぐ

川崎医科大学高齢者医療センターは、急性期医療と在宅療養をつなぐ医療機関として、患者の在宅復帰、在宅療養を支援します。

川崎医科大学高齢者医療センターは、急性期医療と在宅療養をつなぐ医療機関として、患者の在宅復帰、在宅療養を支援します。

川崎医科大学高齢者医療センターは、急性期医療と在宅療養をつなぐ医療機関として、患者の在宅復帰、在宅療養を支援します。

川崎医科大学高齢者医療センターは、急性期医療と在宅療養をつなぐ医療機関として、患者の在宅復帰、在宅療養を支援します。

川崎医科大学高齢者医療センターは、急性期医療と在宅療養をつなぐ医療機関として、患者の在宅復帰、在宅療養を支援します。

27日に一般見学会

川崎学園は、川崎医科大学高齢者医療センターの完成を記念した一般見学会を8月27日午後1時～4時に開催する。病室やフレイルセンター、屋上庭園などを公開。予約不要で、誰でも参加できる。受付場所は、川崎医科大学高齢者医療センター1階の正面玄関。

岡山キャンパス

- 川崎医科大学総合医療センター
- 川崎医科大学高齢者医療センター (2023年9月1日開院)
- 川崎医療短期大学
- 看護学科 医療介護福祉学科



「川崎学園岡山キャンパス」は、診療・教育・研究を通して地域の医療福祉の充実に貢献していきます。



倉敷キャンパス

- 川崎医科大学
- 川崎医科大学附属病院
- 川崎医療福祉大学
 - 医療福祉学部
 - 保健看護学部
 - リハビリテーション学部
 - 医療技術学部
 - 医療福祉マネジメント学部
- 川崎医科大学附属高等学校
- 幼保連携型認定こども園 かわさきこども園
- 専門学校 川崎リハビリテーション学院